教科名	国語	科目	古典（進学クラス、文系）	単位	４単位

１．教科書および副教材

教科書：『精選古典探究古文編』『精選古典探究漢文編』（東京書籍）〔高２から継続使用〕

副教材：『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』（数研出版）

『これでわかる明快古典文法』（いいずな書店）〔高１から継続使用〕

『精説漢文　改訂版』（いいずな書店）〔高１から継続使用〕

『わかる・読める・解ける Key & Point 古文単語 330』（いいずな書店）

〔高１から継続使用〕

『ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟﾉｰﾄ 30 古典文法基礎ドリル　三訂版』（河合出版）〔高１から継続使用〕

『基礎からのｼﾞｬﾝﾌﾟｱｯﾌﾟﾉｰﾄ漢文句法・演習ﾄﾞﾘﾙ』（旺文社）〔高１から継続使用〕

※他にも配布プリント（補助プリント、大学入試過去問改題プリント）を使用

２．授業の目標および内容

『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』を用いて、古典読解に必要な語彙・文法・句法などの基礎知識を確認しつつ、問題演習を行うことで実戦的な読解力を涵養します。また、約週１回程度古文単語などの小テストを実施し、基礎知識の定着を図ります。

学年全体で現代文領域と総合し、基礎学力到達度テストにおいて全付属校における本校の平均偏差値が 53 以上となることを目標とします。また、他大学を目指す生徒が大学入学共通テストにおいて 70～80%以上の得点率が取れるように目指していきます。

なお、「古典①（2時間）」では古文を、「古典②（2時間）」では漢文を中心に扱いますが、授業時数の都合で、教材が入れ替わる可能性もあります。

３．試験について

	１学期		２学期	
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月
学力試験	第１回　６月		第２回　９月	

※内容・評価等について

① 定期試験：基本的には、使用テキストの授業範囲内のもので作題しますが、応用問題として初見の文章による出題をすることもあります。基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルで 100 点満点の試験を行います。なお、「古典①」「古典②」を総合して１つのテストを実施します。

② 学力試験：基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルの出題です。古文と漢文の配点比率は、概ね 25：25 を基本とし、現代文分野と合わせて 100 点満点で出題します。全てのコース・クラスで同一問題です。

４．課題・補習について

課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。

５．評価の視点

定期試験の得点を中心とし、平常点を加味し評価します。平常点は、授業への姿勢や課題の提出状況、授業中の小テストなどを参考に算出していきます。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	〔古典①：古文中心〕 ①問題集を用いた演習 〔古典②：漢文中心〕 ②問題集を用いた演習 〔古典①：古文中心〕 ①問題集を用いた演習 〔古典②：漢文中心〕 ②問題集を用いた演習	〈日大基礎学力到達度ﾃｽﾄ前〉 ○古典文法や漢文句法など基礎的・基本的な知識の定着を確認します。 〈日大基礎学力到達度ﾃｽﾄ後〉 ○古典文法や漢文句法に加え、和歌の修辞法や漢詩の規則を確認し、正確な読解へと繋げます。 ○問題集は『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』（数研出版）を中心に、随筆や物語、日記や評論など様々なジャンルの文章を扱い、実戦的読解力を高めます。 ○古典文学史について総括し、暗記する部分や覚え方等について把握します。 ○定期的な古語ﾃｽﾄの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れます。	＊『古文単語 330』によって単語ﾃｽﾄを実施する。 ＊古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小ﾃｽﾄを行う。
2	〔古典①：古文中心〕 ①問題集を用いた演習 〔古典②：漢文中心〕 ②問題集を用いた演習 〔古典①：古文中心〕 ①問題集を用いた演習 〔古典②：漢文中心〕 ②問題集を用いた演習	〈日大基礎学力到達度ﾃｽﾄ前〉 ○古典文法や漢文句法など基礎的・基本的な知識の定着を確認します。 ○問題集は『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』（数研出版）を中心に活用し、実戦的読解力を高めます。 〈日大基礎学力到達度ﾃｽﾄ後〉 ○クラスの進路状況に応じて教材を選定し、他大受験に対応可能な実戦的読解力を高めます。 ○定期的な古語ﾃｽﾄの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れます。	＊『古文単語 330』によって単語ﾃｽﾄを実施する。 ＊古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小ﾃｽﾄを行う。